

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場

ISO14068-1 カーボンニュートラリティレポート（エグゼクティブサマリー）

2025 年 6 月

サントリープロダクツ株式会社

サントリープロダクツ株式会社は天然水北アルプス信濃の森工場のカテゴリ1（スコープ1）ならびにカテゴリ2（スコープ2）の GHG 排出量に対してカーボンニュートラルを実現し、BSI グループジャパン株式会社により ISO14068-1:2023 の検証を完了しました。2024 年度のカーボンニュートラリティレポートはサントリーグループのホームページでご確認いただけます。
(https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_climate/pdf/iso14068-1.pdf)

◆情報概要

ISO14068-1 の宣言を行う事業者	サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場
ISO14068-1 の対象	サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場操業時のカテゴリ（スコープ）1 および 2 の排出量。 ※カテゴリ3～6（スコープ3）排出量の目標は、2030 年までにバリューチェーン全体で排出量を 2019 年から 30%削減するというサントリーグループ全体のコミットメント（SBTi 認定を受けたサントリー環境目標 2030）によってカバーされているため今回の対象範囲には含まれていません。
実施された適合性評価の種類	ISO14068-1:2023（独立した第三者機関による検証-コミットメントと達成の統一検証） I3P3 検証機関名：BSI グループジャパン株式会社
ISO14068-1 のベースライン日	2022 年 1 月 1 日
達成期間	2024 年（2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）
コミットメント期間	2025 年（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

◆GHG 排出量

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場では 2024 年に第 2 ラインが増設されました。このため製造数量は 33%増えましたが、以下の施策により GHG 原単位を 1%削減しました（いずれもベースライン年比）。

- ・生産活動の条件の見直しによるエネルギーの無駄の削減
- ・ボイラー熱源の LNG から木質チップへのシフト

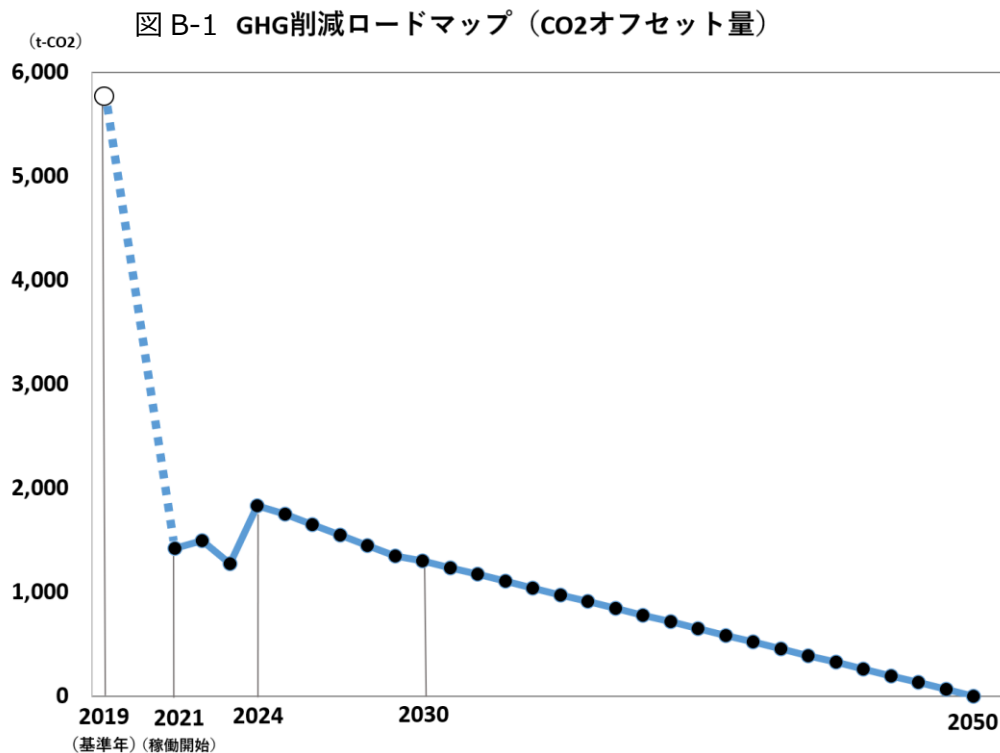
尚、施策導入前のため除去量はありません。

表 A-1 ベースラインとコミット対象期間の年間炭素排出量および差異・増減率

燃料	2022 年実績 (t-CO2e)	2024 年実績 (t-CO2e)	増減量 (t-CO2e)	増減率	2025 年見込 (t-CO2e)
GHG	1,385	1,826	441	32%	1,584
購入したオフセット	1,385	1,826	441	28%	1,584
ネットオフセット合計	0	0	0	-	0
製造数量(kl)	172,020	228,557	56,537	33%	305,000
GHG 原単位(t-CO2e/kl)	0.0081	0.0080	▲0.0001	-1%	0.0052

◆カーボンニュートラル達成のための Pathway

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場では、SBTi 認定を受けたサントリー環境目標 2030 ならびにサントリー環境ビジョン 2050 に沿った形でカーボンニュートラル達成のための Pathway を策定しており、以下の図 B-1 に図示します。



※2019 年は工場稼働前のため、GHG 削減施策を行わなかった場合として算出

※2024 年からBライン稼働開始に伴い、前年と比較しGHG排出量増加

◆カーボンオフセット

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場では、2024 年には表 A-1 に示すように当該工場の敷地内で発生する GHG を 100%カバーするカーボンクレジットを購入しました。これらのカーボンクレジットは、Verified Carbon Standard (VCS) により、二重計上が回避されていることが保証されています。